

(別記様式第15号)

令和3年度

事業進捗状況報告書

事業 主体名	上田市 実務者(説明者)氏名： 滝沢 芳行
-----------	--------------------------

	事業項目	事業名
1		子どもの居場所木質空間整備事業
事業費	469千円 (うち森林づくり県民税：)	351千円)

### 事業目的

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

上田市は5,900ha余りの山林所有者であり、市有林整備については毎年計画的に森林整備を進めているが、私有林については適切な森林整備が実施できていない状況にある。

#### (2) 本事業の目的

県産材を利活用した木のおもちゃを児童館、放課後児童クラブに設置することにより、小学生のころから県産材のおもちゃに触れて慣れ親し慣れ親しみ、親子で木材の地産地消の意識の醸成と、植えて育てて使うという森林整備に対する理解を深める。

### 事業内容

(1) 実施場所 市内の児童館・学童保育所12施設

(2) 対象者 施設利用者

(3) 実施方法 県産材を利活用した木のおもちゃを設置

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

全体計画(平成30年度～令和4年度)

市が設置している保育園・幼稚園・児童館・児童クラブ等、60施設に木のおもちゃを設置

令和3年度進捗状況

B



## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

園児たちが県産材を使用したおもちゃに触れ、木材の手触り、香りに慣れ親しみ、保護者は木材の地産地消の意識の醸成と、植えて育てて使うという森林整備への理解が深まる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

各施設の状況に応じた木のおもちゃを設置するため、「信州木の香る製品情報」より施設毎に要望をとり、5年間で希望する施設すべてに設置する。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

おもちゃの設置場所に本事業の目的を記載した表示を貼付するとともに、設置について市の広報誌に掲載し、県産材の利用促進と森林づくり県民税のPRをする。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

### (2) 課題

### (3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

## 事業の制度等に対する要望等

- 施設ごとに事業計画書・事業報告書を作成することになっているが、申請者が同一の場合は、まとめて作成できればありがたい。